



Creative Application A09

思想と哲学2：存在・実在・リアリティ

2025年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

受講のてびき

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます. 答えのない議論があります
- ・ 前半：本日のテーマ紹介と座学
- ・ 後半：テーマを深める談義・質問・考察
- ・ 気になることをメモをしながら受講してください

資料の見方

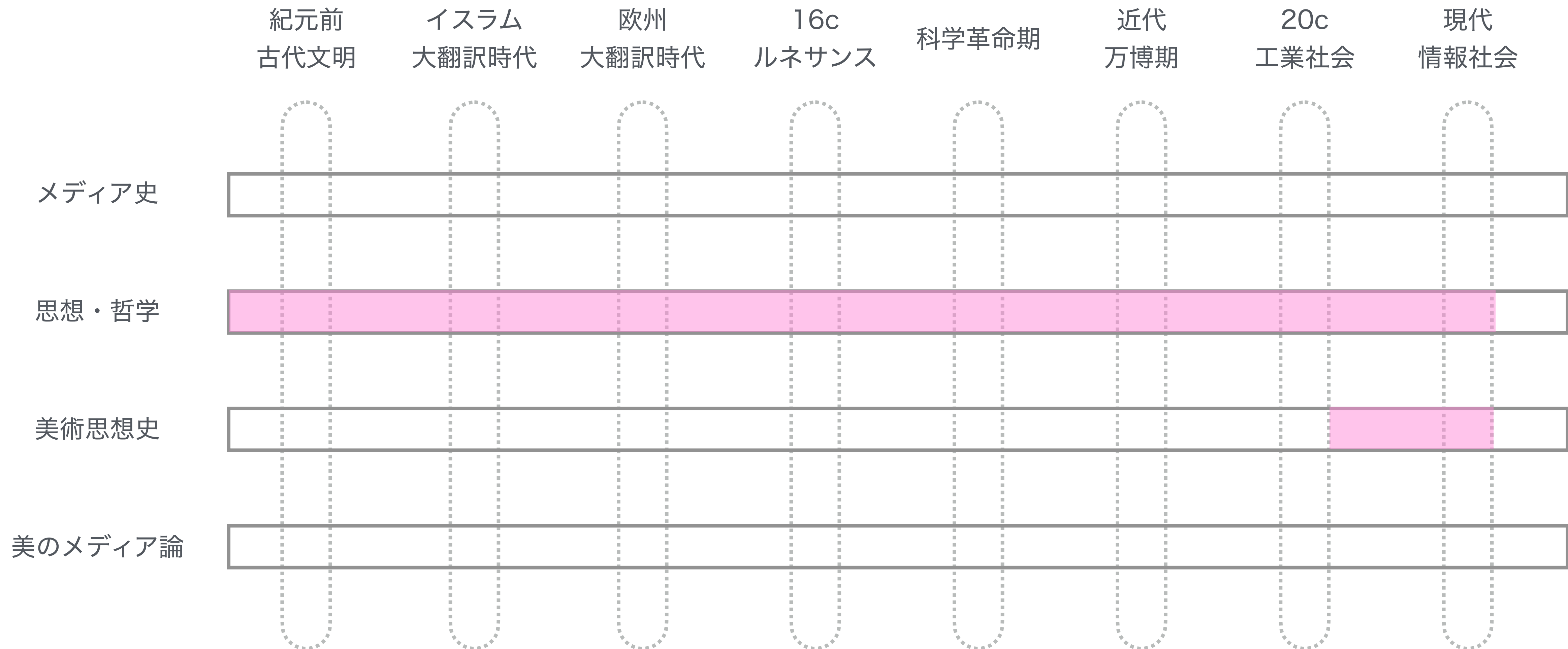
テーマに沿った項目
(座学で説明します)

左の内容に関連した
補足キーワード
(調べ物に役立ててください)

テーマ

- ▶ **リアリティによるメディア活性**

今回の領域



美・存在・リアリティ

- ▶ **(前回まで) メディア表現と美・存在**
 - ▶ 美を通じた表現のメディア活性
 - ▶ 存在の有無に感じる美の主観性と普遍性
- ▶ **リアリティ**
 - ▶ リアリティがもつメディア性
 - ▶ 主観・美・存在・リアリティを整理考察

存在1 - 存在と実在

- ▶ **存在(existence)**

- ▶ 事物があること
- ▶ 物質, 概念, 信じるもの, 想像, 内的なものを含む

- ▶ **実在(real)**

- ▶ 誰に認識されなくとも**そこに本当に存在する**
- ▶ 存在は認識に担保される. 実在は認識から独立する

関連キーワード

- 存在, existence
- 実在, real
- 素朴実在論

存在2 - 古代～中世の实在論

▶ 古代から中世の**实在**論

▶ イデア論

▶ 完璧なイデア(**实在**) ↔ 虚像の現実世界

▶ 形而上学

▶ **实在**は物質に内在する

▶ **存在**はある前提での**本物**とは何かの議論

関連キーワード

- プラトン, 中期イデア論
- アリストテレス, 存在論, 形而上学
- エイドス, ヒュレー, 現実態と可能態
- プロティノス, 古代ネオプラトニズム
- トマス・アキナス, スコラ哲学, 普遍論争
- 実念論, 唯名論, 概念論
- 中世ネオプラトニズム

存在3 - 認識論・言語論・メディアロジー

- ▶ **認識論と言語論 - 主観的**存在****
 - ▶ **存在**は主観でのみ認識できる
 - ▶ 主観は言語やメディアの影響を受ける
- ▶ **存在**は主観的でありメディアに左右される。
あまつさえ**実在**は証明できない。

関連キーワード

- デカルト, デカルトの哲学原理
- カント, 批判哲学, 認識論的転回
- シェリング, ヘーゲル, ニーチェ
- ソシュール, 言語理論
- レヴィ=ストロース, 構造主義
- ドゥブレ, スティグレール, メディオロジー
- フッサール, 現象学

存在4 - 主客・実在の再検討

関連キーワード

- フッサール, 現象学, エポケー
- ハイデガー, 存在論
- メイヤスー, 思弁的実在論
- ガブリエル, 新実在論, 新実存主義

主観・存在・実在の見直しとさまざまな捉え方

- 主観の奥底で疑いようのない存在を探す
- 世界は全て偶然であらゆる可能性を否定しない
- 場の数だけ法則があり場の現象は実在と捉える

存在と認識の再度のすり合わせ

存在5 - 東洋における存在

- ・ **主客の同一性や個は縁の一部**
 - ・ 存在は常に変化し決まった形がない
 - ・ 物質や現象, 個や世界は因縁から生じる
- ・ **つながりが先, その中で自己や世界を感じる**

関連キーワード

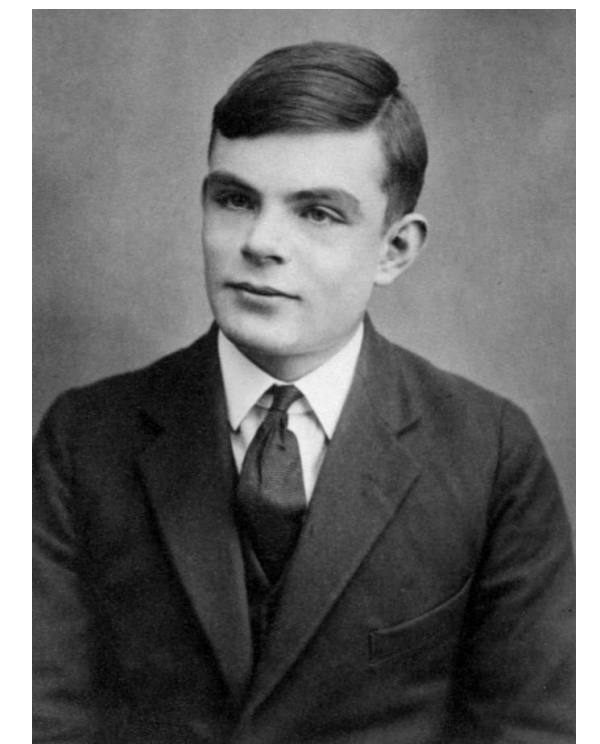
- インド哲学, 梵我一如
- 主客不可分
- 大乘仏教, 部派仏教
- 諸行無常, 諸法無我
- 色, 空, 色即是空, 空即是色
- 縁起

リアリティ1 - 知覚の先へ

- ・ 表現者たちによる**リアリティ**の模索
 - ・ 見たままから離れ, 感じた存在自体を表現する
 - ・ 知覚の先の**”本物”**の追求
 - ・ 他者も同意できる存在感の共有(間主観性)
- ・ **”間主観的な存在感”としてのリアリティ**

関連キーワード

- フッサール, メルロ＝ポンティ
- セザンヌ, 「リンゴの籠のある静物」
- ピカソ, キュビズム, 「泣く女」
- モンドリアン, 新造形主義, 「コンポジションシリーズ」
- バウハウス, 機能主義
- アラン・チューリング



リアリティ2 - バーチャルとリアリティ

- ▶ Virtual : **そのものではないが本質的に同じこと**
 - ▶ Virtualは**潜在的リアリティ**とも言える
 - ▶ 技術進歩によりVirtualの存在感が重要に
- ▶ Virtualもリアリティと同様に,
美で主観と他者をつなぎ間主観的な存在感を醸す
- ▶ **存在感によって物事の価値が現象する**

関連キーワード

- xR(VR, AR, MR)
- チューリング, bombe
- 坂村健, TRON
- 機械学習(ML, DL), AI
- chatGPT, Gemini, Claude
- 生成AI
- カーツワイル, シンギュラリティ
- ドゥブレ, メディオロジー
- ガブリエル, 新實在論

リアリティによるメディア活性

- ▶ 実在論
- ▶ 認識論
- ▶ 相互作用(縁)と存在
- ▶ **リアリティ**が物事のメディア化を促す
- ▶ **リアリティの基盤：間主観・主観・自己とは？**

メディアApp開発8 - ソフトウェアの存在感

- ▶ **App内機能の存在感を醸す工夫を考える**
 - ▶ 機能が無機質なツールにも際立つ体験にもなり得る
 - ▶ 美やリアリティを考慮して機能を磨き, そのメディア性を高める
- ▶ 実践
 - ▶ 知覚的・感覚的接点を見直す
 - ▶ 没入感・直感的操作感・環境としてのマッチングを考える
 - ▶ 存在感を示すタイミング・密度・間を考慮する

本日の談義・考察一助

- a. 存在(exsistence)と存在感(reality)の違いとはなんであろうか
- b. 知覚の先の追求をした人物を挙げてほしい
- c. 間主観性と美の難しさ, 問題点を提起し, 対策を挙げてほしい
- d. 上記に限らず, 自由に質問・問題提起・雑談をしてほしい

次回予定

- ▶ **東洋思想史1: 自己内の探究・我と私と存在**

参考文献

1. ウンベルト・エーコ著, 河島 英昭訳, 「薔薇の名前」, 東京創元社, 1990
2. マーシャル・マクルーハン著, 栗原 裕訳, 河本 仲聖訳, 「メディア論 人間の拡張の諸相」, みすず書房, 1987
3. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
4. 竹田 青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
5. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
6. 藤田 一照, 山下 良道, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
7. クァンタン・メイヤスー著, 千葉雅也訳, 大橋 完太郎訳, 星野 太訳, 「有限性の後で」, 人文書院, 2016
8. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018